

浜松市博物館運営についての考え方（案）〔令和8年度～令和12年度〕

■基本理念 ※昭和54年の開館からのもの

- 1 浜松という地域の歴史文化が形成されてきたようすを、市民が目で見ながら学習し新しい文化を創造していく場としての博物館とする。
- 2 考古・歴史・民俗資料を扱う人文系の博物館とする。
- 3 市民の学習や教育の場とするために、博物館は研究機関としての機能も持たせる。

背景

- ・博物館に求められる役割や機能の増加 ※博物館法改正、ICOMによる博物館の新定義等
多様性、デジタル化、社会への貢献、包摂性、連携強化、コミュニティとの関わり 等
- ・史跡蛸塚遺跡の再整備事業との連携・整合
- ・資料紛失再調査委員による提言（令和4年）
効率的な管理方法の構築、台帳の適切な整備とデジタル化、収蔵庫の増設、セキュリティ強化、資料の活用、職員の専門性と倫理観向上、職員の適切な配置 等
- ・浜松市博物館リニューアル基本構想策定（令和5年）
「つなぐ・つながる・つなげる博物館」を事業の基本理念とする

現状と課題

収集・保管

- ・収蔵庫が満杯状態
- ・収蔵環境が整っていない（空調、動線等）
- ・大量の未整理・未登録資料の存在
- ・保管する必要性の低い資料の存在
- ・台帳の整備不良（重複、誤記、情報不足等）
- ・外部収蔵施設の老朽化による廃止リスク 等

調査研究

- ・調査研究より資料管理業務等が優先されがち
- ・中長期的な取り組みが少ない 等

展示

- ・展示内容の固定化
- ・合併した旧自治体の内容が不足 等

教育普及

- ・事業活動スペースの不足
- ・内容のマンネリ化
- ・幅広い層に向けた事業展開が難しい 等

情報の公開・発信

- ・収蔵資料検索システムの停滞
- ・周知・広報が効果的な集客につながっていない
- ・所蔵図書の利用が不十分 等

連携・協働

- ・連携・協働先が少なく、固定化・高齢化が進行
- ・多様性への対応不足（外国人、障がい者） 等

施設

- ・建物や設備の老朽化による不具合の増加
- ・くつろげる場所の不足 等

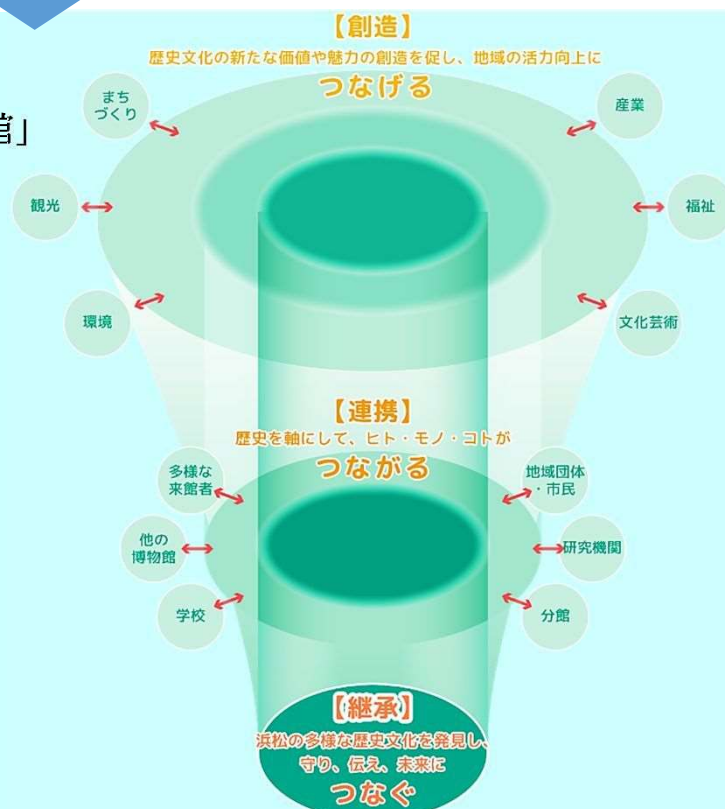
参考：博物館リニューアル事業の基本理念

「つなぐ・つながる・つなげる博物館」

■目指す姿

- ①【つなぐ ～継承～】
浜松の多様な歴史文化を発見し、守り、伝え、未来につなぐ博物館
- ②【つながる ～連携～】
歴史を軸にして、ヒト・モノ・コトが
つながる博物館
- ③【つなげる ～創造～】
歴史文化の新たな価値や魅力の創造を促し、
地域の活力向上につなげる博物館

【つなぐ～継承～】博物館基盤機能の向上を柱として、さまざまな主体と関わり合いながら
【つながる～連携～】や【つなげる～創造～】へと広げていく。



浜松市博物館運営についての考え方（案） [令和8年度～令和12年度]

期間の設定

現時点における博物館リニューアル事業の完了目標は、最短で令和17（2035）年度である。そのスケジュールに基づけば、令和12（2030）年度に現在の館での活動に一定の区切りをつけ、以降はリニューアルに向けた資料の移設や設計・施工等に移行していく計画である。したがって、**今期の設定期間を令和8～12年度（2026～2030年度）とする。**

今期の目標（最終的なアウトカム）

多様な人々が博物館を介して地域の歴史文化に触れ、学び、楽しみ、創造する

中間目標（中間アウトカム）

市民が博物館を信頼している

市民が博物館を身近に感じている

市民が博物館を必要と感じている

直接目標（直接アウトカム）

指標1

博物館の基本機能の強化と倫理性の確保

指標2

誰もが利用・活動しやすい場の提供

指標3

地域や社会への貢献と新たな価値の創造

取り組み

資料の体系的な収集と安定的な保管

調査研究の計画性と質の向上

学術的な根拠に基づく魅力的な展示と教育普及

多様性、社会包摂への対応

市民の交流・活動の機会の創出

オンラインサービスの充実

ホスピタリティの向上

積極的な情報の公開・発信

さまざまな主体との連携・協働

新たな価値や魅力の創出

アウトリーチの推進

事業

資料の体系的な収集と安定的な保管

- ・統一した方針に基づく資料管理
- ・組織的な受入判断
- ・台帳の整備とデジタル化
- ・未整理・未登録資料の解消
- ・収蔵資料の見直し
- ・収蔵環境の維持 等

調査研究の計画性と質の向上

- ・計画的で適切なテーマの設定
- ・時間や環境、予算の確保
- ・学芸職員の資質向上
- ・他機関等との共同研究の推進 等

学術的な根拠に基づく魅力的な展示と教育普及

- ・調査研究成果の展示や教育普及への反映
- ・展示内容や手法の不断の見直し
- ・展示と教育普及の紐づけ 等

多様性、社会包摂への対応

- ・多言語化の推進
- ・適切な障がい者等への対応
- ・子ども向けの展示解説機能の充実 等

市民の交流・活動機会の創出

- ・多様な層に向けた教育普及の充実
- ・ボランティア活動の拡充
- ・所蔵図書を活用促進 等

オンラインサービスの充実

- ・デジタルアーカイブの充実
- ・収蔵資料検索システムの改善
- ・来館できない人を対象としたサービスの提供 等

ホスピタリティの向上

- ・レファレンスの充実
- ・快適な空間の創出
- ・接遇の向上 等

積極的な情報の公開・発信

- ・アンケート等の分析による効果的な広報手段の実践
- ・ホームページの再構成
- ・SNSの活用 等

さまざまな主体との連携・協働

- ・学校との連携
- ・地元コミュニティとの連携
- ・他館との連携
- ・周辺の歴史文化施設や文化財等のハブ機能の創出
- ・異分野との連携 等

新たな価値や魅力の創出

- ・外部からの視点の導入
- ・ユニークメニューの促進
- ・ミュージアムショップの充実 等

アウトリーチの推進

- ・地域と協働した分館や収蔵施設等の運営
- ・出張展示や講座の積極的対応